

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は2018年度日本陸上競技連盟規則並びに本競技会の競技注意事項（本注意事項）により実施する。

2 受付について

- (1) 競技者受付は競技者インフォメーション（TIC）にて行う。受付の際に、ナンバーカード、プログラムを配付する。TICは、正面スタンド入口脇に設置する。
*日本大学陸上競技場にはTICを設置しないが、ハンマー投のみに出場する競技者は日本大学陸上競技場にてナンバーカードを受け取ること。
- (2) プログラムに記載ミス（氏名、フリガナ、学年、所属等）があった場合には、8時30分、または出場する競技の2時間前までにTICに申し出ること。記録確定以後の訂正（賞状・記録証の訂正を含む）には、一切応じない。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用している。
- (3) プログラムは残部がある場合に限り、TICで販売する。

3 練習について

- (1) 練習は、本競技場内及び軟式野球場（やり・円盤・砲丸は使用不可。）で行うことができる。
- (2) 練習はすべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- (3) 周回レースが行われていない時間帯については、バックストレートを開放する。
- (4) ハードルの設置は以下の通りとする。

	競技種目	練習場所	設置時間
男	110mH	ホームストレート（7・8レーン）	2日目 8:30～9:10
		バックストレート（7・8レーン）	2日目 10:40～11:50 13:20～14:00
子	400mH	第1曲走路からバックストレート（7・8レーン）	1日目 8:30～9:40
			1日目 13:25～13:50
女	100mH	ホームストレート（5・6レーン）	2日目 8:30～9:10
		バックストレート（5・6レーン）	2日目 10:40～11:50 13:20～14:00
子	400mH	第1曲走路からバックストレート（5・6レーン）	1日目 8:30～9:40
			1日目 13:25～13:50

- (5) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、競技開始前に各々の競技場所で練習を行う。
- (6) 練習に必要な用器具は主催者が準備するが、持参した個人の用器具も使用できる。ただし、破損・紛失等に関しては一切責任を負わない。また練習中の個人の荷物は、各個人が責任を持って管理すること。

4 招集について

- (1) 招集所の設置場所は、100mスタート地点脇のダッグアウト内とする。
- (2) 各競技の招集開始時刻・招集完了時刻、リレーオーダー用紙提出締切時刻は、競技日程に記載の通りとする。リレーオーダー用紙は、招集所に準備してある。
- (3) 招集の方法
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標のチェックをする。また、トラック競技に出場する競技者・チームは腰ナンバー標識（2枚）を受け取ること。
 - ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。

- ③ 代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、招集所（競技者係）に備え付けの「2種目同時出場届」に記入し競技者係に提出すること。
 - ④ 棒高跳・ハンマー投の招集は競技実施場所にて行う。
- (4) 欠場する場合は、当該競技の招集開始時刻の30分前までに所定の「欠場届」を競技者係に提出すること。招集完了時刻に遅れた競技者は当該競技を棄権したものとみなす。

5 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは主催者が2枚配付する。
- (2) ナンバーカードはそのままの大きさを胸と背部に確実に固定すること（跳躍競技については胸または背部どちらかでよい）。
- (3)トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識（2枚）をパンツ両側の上部、やや後ろにつけること。（リレー競技の場合は、アンカーだけ腰ナンバーを使用。）なお、腰ナンバー標識は競技終了の都度、競技役員に返却すること。

6 競技場への入退場について

- (1) 競技場内への入退場はすべて競技役員の手配に従うこと。
- (2)トラック競技ではフィニッシュ後、フィニッシュライン脇の建物出入口からスタンド下の廊下を通って更衣室に戻る。1500mでは、フィニッシュ後、スタート地点に荷物を取りに行く際は、フィニッシュライン通過後第1曲走路出口付近からダッグアウト内を移動すること。その後、更衣室に戻る際は同じルートを通ること。なお、スパイクを履いたまま競技場建物に入ることは厳禁とする。

7 競技及び競技方法について

- (1)トラック競技
 - ①トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
 - ②レーン順はプログラム記載通りとする。
 - ③短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
 - ④小学生のスタートについては全国小学生陸上競技交流大会に準じて行う。また小学生のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
 - ⑤予選のあるトラック競技の準決勝・決勝の組合せ及びレーン順は、招集所の掲示板に発表する。
 - ⑥リレーで使用するマーカーは、各チームで用意し、レース終了後必ず各チームで外すこと。
- (2)フィールド競技
 - ①跳躍種目及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、砲丸投・円盤投・ハンマー投についてはサークル直後に主催者が用意したマーカーを1つだけ置くことができる。
 - ②三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子10mの地点に設置する。
 - ③走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の1人となるまでは以下の通りとする。（ただし、天候等の状況により変更することもある）

種目	練習	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m85 2m00	1m90	1m95	2m00	2m03	2m06	2m09	以降3cm刻みとする。
女子走高跳	1m50 1m64	1m55	1m60	1m64	1m67	1m70	1m73	以降3cm刻みとする。
男子棒高跳	任意の高さ	4m20	4m30	4m40	4m50	以降5cm刻みとする。		
女子棒高跳	任意の高さ	2m60	2m70	2m80	2m90	以降3m20までは10cm刻みとし、3m20からは5cm刻みとする。		

(3) 抗議

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、正式結果が電光掲示板に正式発表されてから30分以内（次のラウンドがある場合は15分以内）に、競技者自身または代理人がTICに口頭で申し出る。審判長が再度検証し、本部担当総務員を通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ、預託金（1万円）を添え、TICに申し出ること。ただし、日本大学陸上競技場にはTICを設置しないため、抗議・上訴ともに現地の担当総務員に申し出ること。

(4) 助力

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- ② 競技中に競技場内のスタンド下ダッグアウトから助言（指導）をおこなうことは禁止する。スタンドにコーチングボックスは設けない。
- ③ フィールド種目に出場している競技者に対して競技区域外（スタンド）にいる者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技区域外（スタンド）から見せることに限定され、録画した機材（スマートフォン・ビデオカメラ等）を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなす。

8 用器具について

- (1) 競技で使用する用器具は棒高跳用ポールを除き、すべて主催者が準備したものを使用しなければならない。ただし、「やり」は競技場備付のもの（「投てき物一覧表」参照）以外であれば個人所有のものも使用できる。
- (2) 「やり」の持込を希望する競技者は、競技開始90分前までに、公式計測員〔本部前〕に「投てき用具検査申請書」とともに提出すること。受け付けた「やり」については「預り証」を発行する。検査に合格した「やり」は、主催者が一括して借り上げ、参加競技者で共有できるものとする。受け付けた「やり」は、競技終了後に本部前で返却する。
- (3) 送付された棒高跳用ポールはBゲート側用器具庫に保管されている。また、棒高跳用ポールの返送（有料）を希望する競技者は、競技終了後にポールをBゲート側用器具庫に運んだうえで、TICに申し出ること。

9 競技用靴について

スパイクピンの長さは、9mm以内とし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

10 表彰について

- (1) 選手権各種目の優勝者には選手権章と賞状、第2位と第3位にはメダルと賞状、第4位から第8位には賞状を授与する。また、最優秀選手として男女各1名、優秀選手として男女各若干名を表彰する。
- (2) 第3位までの入賞者は、表彰式にて表彰を行う。競技終了後、速やかに表彰者待機場所に集合すること。
- (3) ハンマー投の表彰も駒沢競技場で行なう。第3位までの入賞者は公共交通機関（鉄道）を利用して駒沢競技場に移動すること。下高井戸（京王線）～明大前～渋谷～駒沢大学までの交通費（320円）は主催者が負担する。タクシー等を利用した場合の差額は自己負担となるので注意すること。
- (4) 第4位～第8位までの入賞者には、正式結果発表後30分を経過してから、表彰係で賞状を授与する。
- (5) 最優秀選手及び優秀選手については、第2日の競技終了後、表彰を行なう。アナウンスがあったら、正面スタンド下の表彰者待機場所に集合すること。
- (6) 小学招待・中学選抜の部は第1位～第8位に賞状を授与する。入賞者は競技終了後、競技役員からの指示に従い表彰者待機場所に集合すること。

11 商品名のついた衣類やバッグ類等について

競技場に商品名のついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。競技役員から指摘・指導された場合は、その指示に従い、必ずテープ等を貼って隠すこと。

12 「第102回日本陸上競技選手権大会」、「第102回日本陸上競技選手権リレー大会」の参加について

- (1) 東京陸上競技協会登録競技者のうち、本競技会の東京選手権種目において優勝もしくは第2位、第3位に入賞した者のうち、所定の期間内に指定の参加標準記録Bを突破している者は、2018年度に実施される「第102回日本陸上競技選手権大会」に出場することができる。
なお、「第102回日本陸上競技選手権リレー競技大会」の参加については、「第102回日本陸上競技選手権リレー競技大会 参加資格」を参照のこと。
- (2) 詳細については、日本陸上競技連盟ホームページ大会情報 (<http://www.jaaf.or.jp/fan/taikai/>) の「日本陸上競技選手権」、「日本陸上競技選手権リレー大会」大会要項を参照のこと。

13 その他

- (1) 2018年度の日本陸上競技連盟競技規則修正点について、とくに注意すること。
- (2) 競技中の応援・助言（指導）は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。
- (3) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (4) 主催者で預かった物品については一時保管するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。
- (5) 盗難等の防止のため、更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かず各自が責任持って管理すること。
- (6) 記録はその都度、アナウンスおよび電光掲示板に発表するが、招集所の掲示板にも掲示する。
- (7) 届けられた遺失物については、TICで保管する。保管期間は4月30日競技会終了時までとする。
- (8) 次の種目の「第81回東京陸上競技選手権大会」については以下の通り行う。

○十種競技、七種競技：

日本グランプリシリーズプレミア 東京大会 TOKYO Combined Events Meet 2018

(2018年4月21日・22日)

○男子20km競歩、女子10km競歩：

第67回元旦競歩大会（2019年1月1日）

※東京陸上競技協会登録競技者の申込がない種目については、実施しないことがある。

- (9) 記録証は1部300円で発行する。希望者はTICに申し出ること。ただし、第1日は15:00、第2日は16:00までに受け付けた場合のみ当日に発行する。
- (10) 提出書類等については以下の通りとする。

	提出書類等	配付・提出先	提出締切時刻
1	プログラム訂正届	TIC	競技実施日の8時30分まで、または 競技開始時刻の2時間前まで
2	欠場届	競技者係	招集開始時刻の30分前まで
3	2種目同時出場届	競技者係	第1種目の招集開始時刻の30分前まで
4	投てき用具検査申請書	公式計測員	競技開始時刻の90分前まで
5	抗議申立（口頭）	TIC	正式記録発表後（予選・準決勝）15分まで （決勝）30分まで
6	上訴申立書（文書）	TIC	審判長公式裁定後（予選・準決勝）15分まで （決勝）30分まで
7	記録証交付願	TIC	競技終了後随時

第81回東京陸上競技選手権大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。

競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>

QRコードもご利用ください。



駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場 投てき物一覧表

2018.3.22現在

用具		種別	メーカー	品名等	規格等	数量	合計	
砲丸	男子	一般 (7.260kg)	NISHI	鉄製	φ 129mm	6	13	
					φ 125.5mm	4		
		高校・U20 (6.000kg)	ベルグ	鉄製	φ 120mm	1		
					真ちゅう	φ 120mm		1
						φ 110mm		1
	NISHI	鉄製	φ 120mm	3	9			
			φ 117mm	6				
	中学・U18(5.000kg)	NISHI	鉄製	φ 110mm	14	14		
	女子	一般 (4.000kg)	NISHI	鉄製	φ 109mm	4	12	
					φ 108mm			
φ 103mm					7			
NISHI		真ちゅう	φ 94mm	1				
			中学 (2.721kg)	NISHI	鉄製	φ 90.5mm	12	12
円盤	男子	一般 (2.000kg)	NISHI	SUPER	φ 220.5mm	3	10	
				HIGH MOMENT	φ 220.5mm	1		
				スーパー (黒)	φ 220.5mm	6		
		高校・U20 (1.750kg)	NISHI	SUPER	φ 210.5mm	6	7	
				スーパー (黒)	φ 210.5mm	1		
	U18 (1.500kg)	NISHI	SUPER	φ 210.5mm	10	10		
	女子	一般・高校・ U20・U18 (1.000kg)	NISHI	SUPER	φ 181.5mm	5	14	
				HIGH MOMENT	φ 181.5mm	3		
				スーパー (黒)	φ 181.5mm	5		
				スーパー (紫)	φ 181.5mm	1		
ハンマー	男子	一般 (7.260kg)	NISHI	ダグタイル	φ 116.5mm	4	8	
				タングステン入り	φ 110mm	4		
	高校・U20(6.000kg)	NISHI	鉄製	φ 116mm	12	12		
	女子	一般・高校・U20(4.000kg)	NISHI	鉄製	φ 102mm	1	8	
ダグタイル				φ 95mm	7			
やり	男子	一般・高校・U20 (800g)	NEMETH	FLYING HISTORY 80	80m	1	20	
				M.NEMETH	80m	1		
			NORDIC	CHAMPION	/	1		
				SUPER ELITE 90	90m	1		
			アポロ	Laser	100m	1		
				OLYMPIC GOLD	/	1		
			NISHI	HYBRID WING	/	1		
				SUPER	80-90m	1		
				Super	80m(F453C)	4		
				Long	70m(F454C)	1		
				LONG	60-70m(F454)			
				LONG	60-70m	3		
			女子	一般・高校・U20 (600g)	NORDIC	DIANA 80		80m
	DIANA 70	70m				1		
	DIANA 60	60m				1		
	STAR	/			1			
	NEMETH	M.NEMETH			75m	1		
	アポロ	OLYMPIC GOLD			85m	1		
	NISHI	HYBRID WING			/	1		
		SUPER	/	1				
SUPER.DR		55-65m(F463C)	5					
LONG.DR		45-55m(F464C)	5					
MEDIUM.DR	30-45m(F465C)	1						